

# 韓国国会議員の政治意識の研究

— Q方法論の利用を通じて —

\* 金正鐸  
尹文九 訳

## Ⅰ 研究目的

国会議員は国民を代表する。国会議員が国民を代表するという時に、二つの意味をもつ。一つは選挙区を代表するという意味であり、もう一つは、政治意識を代表する。今日の政治現実における政治的には、民主主義(democracy)、と、エリート主義(elitism)、<sup>1)</sup>、経済的には、市場経済主義(free market economy)、<sup>2)</sup>と、政府介入主義(government

\* 一九九四年—一九五年、筑波大学社会科学系、外国人研究者(成均館大学・助教授)

intervention) が政治意識の代表的な例と言えるだろう。

さて、国会議員の理念的な代表性は選挙区の特性が適切に調和を成している場合が多い。例を挙げれば、農村地域は保守的な理念を擁護する政治家が、工場の勤労者が多い都市地域は進歩的な理念を擁護する政治家が国会議員として選出される場合が多い。米国の場合、進歩的な理念をもつ国会議員は東北部地域で、保守的な理念を持つ国会議員は南部地域で多く選出されることもこの理由である。

政治意識は政治家の最も重要な政治的資産である。もちろん有権者が政治家を評価するにはいろいろの要因がある。能力、資質、人格、経歴などが挙げられる。しかし、こうした要因は公職者として具えなければならぬ一般的な資産であり、政治家という点に局限する時、政治意識は政治家の固有の資質に該当する。ところが、韓国の政治家は政治意識によって有権者から審判を受けることが少ない。それより、能力、資質、人格、経歴などの一般的な資質によって審判を受ける場合が多い。その一番大きな理由は、韓国の政党が「理念政党」ではなく、「大衆政党」という事実に基づいていると考えられる。

李承晩政権下の自由党と民主党、朴正熙政権下の共和党と新民党、全斗煥政権下の民正党と民韓党、盧泰愚政権下の民正党、民主党、平民党が与・野党を構成したが、これらの政党は多少の差異はあるものすべてが「大衆政党」であった。

このために、盧泰愚政権下で与党である民正党が野党である民主党および共和党と統合して民自党という新しい与党となったのも、これらの政党が「理念政党」ではなかったから可能であったと考えられる。

今日、日本でもこうした現象が見られている。一九九三年自民党の一党支配が終わりながら、現在まで三回の連立

内閣が構成されたが、これらの連立内閣は理念的に結合したのではない。これらの連立内閣は理念よりは政治的必要によって誕生されたと見られる。特に、三回目の自民党と社会党との連立内閣はこうした事実を端的に表わしているのではないかと思われる。

韓国の政党が大部分が「大衆政党」であるという事実は、国会議員の選挙が「争点競争 (issue contest)」よりは「人物競争 (Beauty contest)」によって主に行われていることを意味している。例えば、韓国の政治家は政治意識よりは能力、資質、人格、経歴など個人的な要素によって有権者の審判を受ける。このために個人のイメージの形成が選挙戦略の核心となる場合が多い。

「イメージ政治」は決して望ましい政治ではない。イメージは実像 (reality) ではなく、虚像 (pseudo reality) であり、「イメージ政治」とは一言でいえば本質のない政治である。従って政治家がイメージ政治だけに執着する場合、健全な政治発展を期待し難い。

イメージ政治が蔓延すれば国会議員は与えられた任務である国事に忠実となるよりは有権者にどうすれば良く見せるかという広報的次元のことだけに没頭することになる。即ち、イメージ志向的な政治家は自身の名前が言論によく取り上げられることにもっと熱心になる。

イメージ政治を終息させて、政治が国民の政治的要望を反映すべきであるという本然の姿に取り戻すためには、政治家が持っている政治意識が何であるかを正確に把握する必要がある。そして、本研究は韓国の政治家の政治意識を国会議員の政治観と経済観を通じて把握しようとする。

国会議員の政治意識は政党に例えると政策及び政綱に当たる。政党の政策及び政綱によって政党の性格が定められ

るように国会議員の政治意識によって国会議員の性格が定められる。従って有権者は政治家のイメージではなく政治意識によって評価しなければならない。

しかし、国会議員の政治意識は韓国の有権者にありのままに伝達されないことが多い。国会議員の政治意識が党利党略などによって現実の政治世界に対してそのまま影響力を行使ができない。さらに言論も理念として代表される政治家の本質よりは政治家の象徴的ゼスチュアなどと報道することに慣れ、国会議員の政治的本質を報道することを疎んじてきた。そして国会議員も政治意識を維持し、固守するよりは突飛な行動を通じて自身の名前がメスメディアなどに登場することに熱心であった。

本研究はこのような韓国政治の問題点を改善するために実施されたものである。有権者に国会議員の政治意識に対する情報を正確に提供することによって有権者が国会議員を客観的に判断することができるためである。このような研究及び研究結果の公開が葛藤と対立を克服し、韓国の政党政治が改善されることを期待する。

## II 研究方法

本研究のためにQ—方法論を使用しようとする。Q—方法論は自己指示的(self-referent)である設問や意見の陳述のような設問を分類することによって自身の態度及び意識を操作的に定義する一種のテクニクである。

Q—方法論の創始者であるシティブンスン<sup>\*</sup> (William Stephenson) によればQ—方法論は個人の回想、相手を通じて見た自身の反映、個人の自己観察及び投影、その外にもより明白に主観的なことを取り扱うことによつて体系的な道を提示している。

従つて、国会議員の政治観及び経済観を把握するための本研究におけるQ—方法論の使用は有効なものであると考へられる。

要素分析 (factor analysis) はQ—方法論のための基本的な統計である。要素分析は変数 (Variables) の相関関係マトリックス (correlation matrix) と一緒に始めて研究する現象がいくつかの因子の中に包含されるかの可否を決定する統計である。

要素分析はQ—テクニクよりR—テクニクのために主に使われてきた。Q—方法論は要素分析の特別な使用方法である。R—方法論が「相互依存的分析 (inter dependency analysis)」とするならば、Q—方法論は「従属的分析 (dependency analysis)」である。

相互依存的分析とはどのようなものによつても影響されない純粋な状態でデータ間の関係を発見する作業である。反面、要素分析の従属的方式は非常に異なるように進行される。それに特別な事前作業によつて願う関心事を経験的に研究に挿入させる。

国会議員の政治観及び経済観に関するデータを収集するためにQ—方法論の使われ、Q—方法論に使用される設問を作成するために本格的な文献研究を進行した。本方法論の最初の作業はQ—サンプル、あるいはQ—設問と呼ばれ

る設問の作成である。Q―設問を作成した後、個人インタビューを実施した。Q―サンプルの中に隠れている仮定の一つは与えられた主題に対して意見を述べる母集団があり、Q―サンプルは母集団の意見陳述設問のサンプルというものである。Q―サンプルはどんな理論や仮定を反映するために構成されたりするが、全体的な構成を必要としないこともあり得る。また、Q―サンプルは文献から得られたりもするが、深層インタビューを通じて得られることもある。本研究は二つの方法をすべて活用して54個のQ―設問を作成した。この設問を持って、この分野の五名の関連専門家を相手に下調べを実施した。

下調べの結果、Q―設問の中で内容が重ねたり、意味が不分明であると判明された24個のQ―設問を除いて最終的に30個のQ―設問を完成した。30個のQ―設問は15個の政治観を把握する設問として構成された。政治観はエリート主義と民主主義の次元で、経済観は市場経済主義と政府干渉主義とに構成した。表1と表2は最終的に完成された30個のQ―設問である。

調査方法に設問紙配布方式を採択し、配られた設問紙は都合50枚であったが、実際には66枚しか回収されなかった。国会議員を相手にした調査であったので設問紙の回収に困難が多かった。しかし、Q―方法論におけるP―サンプル（本調査では国会議員）の大きさは問題視されないため66名の国会議員の応答で分析を試みた。調査期間は94年8月から9月15日まで二十日間であった。

表1 政治観を把握するためのQ-設問

政治観のQ-設問	次元
1. 少数意見は多くの場合真実とは距離が遠い意見である。	エリート主義
2. 韓国の社会が望ましい社会となるためにはエリートの役割が重要である。	エリート主義
3. 権威主義(authoritarian)とは異なり権威(authority)は社会的に尊重されなければならない。	エリート主義
4. 今日の程度に生活ができるようになったのは朴正熙のリーダーシップに基づく所が大きい	エリート主義
5. 国民に多くの自由を許容すれば放縦に流れやすい。	エリート主義
6. 国民が願わなければ仕事の正当性の是非に関係なく放棄することが望ましい態度である。	エリート主義
7. 国民の誤った政治意識が政治発展において大きな障害物である。	エリート主義
8. 最終決定権者に権力が集中されることで効率的な政府運営が可能になる。	エリート主義
9. 「一人一票主義に」立脚して行なわれている現行の選挙制度は効率的な制度である。	民主主義
10. 主流から外れた少数意見であっても多くの場合において傾聴する必要がある。	民主主義
11. 民主主義が正しく機能するためには立法権が司法権・行政権に優先されなければならない。	民主主義
12. 韓国の国民は民主主義を運営する能力を十分に備えている。	民主主義
13. 現在の政府は「文民政府」と言われているが、国事の重要決定過程を見ると過去の政府と大きく異なっていない。	民主主義
14. 国民の基本権は如何なることがあろうとも制約されてはいけない。	民主主義
15. 国家が誤っている場合に備えて「国民抵抗権」は憲法で当然に認められなければならない。	民主主義

表2 経済観を把握するためのQ—設問

経済観のQ—設問	次・元
1. 市場経済体制を確立することのみが北朝鮮との体制競争に勝利する唯一の道である。	市場経済主義
2. 「貿易立国」のスローガンの下でウルグアイラウンド体制を支持することが賢明な態度である。	市場経済主義
3. 政府が企業に対して固有業種を指定することは企業の競争力を弱化させるばかりである。	市場経済主義
4. 企業人は税金を正しく納めればいくらお金を設けてもそのことが問題ではない。	市場経済主義
5. 韓国の公共料金は現実と合わず副作用が多いので（安い電気料金のために節約精神の不足、安い地下鉄のために投資促進の低下、安い鉄道の料金のために技術開発の鈍化）韓国と類似した他の国の水準に引き上げるべきである。	市場経済主義
6. 公企業の下では企業が効率的に機能できないため公企業は私企業に転換させる方が望ましい。	市場経済主義
7. 消費者の権利を保護するためには農業でも市場経済原理が導入されなければならない。	市場経済主義
8. 今日企業がその規模を大きく拡大していることは国際化時代における競争で生き残るための適切な選択である。	市場経済主義
9. 経済を企業家だけに任せては経済の機能がよく作動しない。	政府干渉主義
10. 財閥の経済力の集中が深化される場合、経済の効率性に損傷を受けることがあっても政府がこの問題の解決のために介入しなければならない。	政府干渉主義
11. 政府が大企業の中小企業業種に対する参入を防いでいることは適切な措置である。	政府干渉主義
12. 経済の活力のために「小さな政府」となるべきであるという主張もあるが、それは韓国の状況に合わない。	政府干渉主義
13. 「富の増加」か「富の平等」かという二つのスローガンの中で二者択一をすればそれは富の平等である。	政府干渉主義
14. 農民は我らの主食を生産する人々であるから国家によって保護されることは当然である。	政府干渉主義
15. 不良企業が発生したら失業者が量産されるなど社会的な問題が発生するので政府が不良企業を放置するよりは支援することがより望ましい態度である。	政府干渉主義



### III 結果及び分析

#### 一 政治観による類型化

国会議員の政治観を民主主義—エリート主義の観点から把握して観た結果、民主主義の類型に属する国会議員は46名、エリート主義の類型に属する国会議員は20名に表れた(表3及び表4)。この中で統計学的に有意な結果を示した国会議員は民主主義の類型が28名、エリート主義の類型が8名である(Z—点数が一、〇〇〇以上である議員)。

従つて、韓国の国会議員は民主主義の類型がエリート主義の類型より多いということが明らかになった。そして、政党別に比べれば野党議員は民主主義の類型に、与党議員はエリート主義の類型に多いということが表れた。(＊表3と表4省略)

国会議員のこうした区分は次のような事実によつて明らかになった。まず、民主主義の類型に属する国会議員は「国民の基本権は如何なることがあるとも制約されてはいけない(民主主義)」、韓国の国民は民主主義をすることができ、その能力を充分に備えている(民主主義)」、国家が誤っている場合に備えて「国民抵抗権」は憲法で当然に認められなければならない(民主主義)」、現在の政府は「文民政府」と言われているが、国事の重要決定過程を見ると過去の政府と大きく異なっていない(民主主義)」という項目においては統計学的に有意な肯定的態度をとつた(Z—点数一、〇〇〇以上)。

反面、「主流から外れた少数意見は多くの場合真実と距離が遠い(エリート主義)」、国民に多くの自由を許容すれ

表5 民主主義の類型を示す設問及びZ一点数の配列

政治観のQ一設問	Z一点数
国民の基本権は如何なることがあろうとも制約されてはいけない。(民)	1.47
韓国の国民は民主主義を運営する能力を十分に備えている。(民)	1.21
国家が誤っている場合に備えて「国民抵抗権」は憲法で当然に認められなければならない。(民)	1.03
現在の政府は「文民政府」と言われているが、主要な意思決定過程を見ると過去のように権威主義的である。(民)	0.98
「一人一票主義に」に立脚して行なわれている現行の選挙制度は効率的な制度である。(民)	0.63
権威主義とは別に権威は社会的に尊重されなければならない。(エリート)	0.62
主流から外れた少数意見であっても多くの場合において傾聴する必要がある。(民)	0.47
国民が願わなければ仕事の正当性の是非に関係なく放棄することが望ましい態度である。(民)	0.30
民主主義が正しく機能するためには立法権が司法権・行政権に優先されなければならない。(民)	-0.01
韓国の社会が望ましい社会となるためにはエリートの役割が重要である。(エリート)	-0.54
国民の誤った政治意識が政治発展において大きな障害物である。(エリート)	-0.78
今日の程度に生活ができるようになったのは朴正熙のリーダーシップに基づく所が大きい。(エリート)	-1.21
効率的な政府運営のために最終決定権者に権力が集中されなければならない。(エリート)	-1.27
国民の多くの自由を許容すれば放縦に流れやすい。(エリート)	-1.29
主流から外れた少数意見は多くの場合、真実とは距離が遠い意見である。(エリート)	-1.62

\* (民)は民主主義を(エリート)はエリート主義を意味する。

表6 エリート主義の類型の性格を示す設問及びZ一点数の配列

政治観のQ一設問	Z一点数
権裁主義とは別に権威は社会的に尊重されなければならない。(エリート)	1.93
韓国の社会が望ましい社会となるためにはエリートの役割が重要である。(エリート)	1.38
今日の程度に生活ができるようになったのは朴正熙のリーダーシップに基づく所が大きい。(エリート)	1.20
国民が願わなければ仕事の正当性の是非に関係なく放棄することが望ましい態度である。(エリート)	0.74
「一人一票主義に」に立脚して行なわれている現行の選挙制度は効率的な制度である。(民)	0.66
国民に多くの自由を許容すれば放縦に流れやすい。(エリート)	0.14
現在の政府は「文民政府」と言われているが、主要な意思決定過程を見ると過去のように権威主義的である。(民)	0.07
主流から外れた少数意見であっても多くの場合において傾聴する必要がある。(民)	0.04
韓国の国民は民主主義を運営する能力を十分に備えている。(民)	-0.18
国家が誤っている場合に備えて「国民抵抗権」は憲法で当然に認められなければならない。(民)	-0.52
国民の誤った政治意識が政治発展において大きな障害物である。(エリート)	-0.57
少数意見は多くの場合、真実とは距離が遠い意見である。(エリート)	-0.89
立法権が行政・司法権に優先されなければ民主主義が正しく機能できなくなる。(エリート)	-1.03
効率的な政府運営のためには最終決定権者に権力が集中されなければならない。(エリート)	-1.43
国民の基本権は如何なることがあろうとも制約されてはならない。(民)	-1.54

\* (民)は民主主義を(エリート)はエリート主義を意味する。

ば放縦に流れやすい(エリート主義)」、効率的な政府運営のためには最終決定権者に権力が集中されなければならない(エリート主義)」、今日の程度に生活ができるようになったのは朴正熙のリーダーシップに基づく所が大きい(エリート主義)」という項目においては統計学的に有意味な態度をとった(Z―点数―一、〇〇〇以上)。

従つて、これらの類型に属する国会議員は民主主義を好むかという質問に対しては肯定的な態度を、エリート主義を好むかという質問に対しては否定的な態度を示した(表5)。

エリート主義の類型に属する国会議員は「権威主義とは別に権威は社会的に尊重されなければならない(エリート主義)」、韓国の社会が望ましい社会となるためには民主よりはエリートの役割が重要である。(エリート主義)」、今日の程度に生活ができるようになったのは朴正熙のリーダーシップに基づく所が大きい。(エリート主義)」という項目においては統計学的に有意味な肯定的態度をとった。

反面、「国民の基本権は如何なることがあろうとも制約されてはいけない(民主主義)」、効率的な政府運営のため最終決定権者に権力が集中されなければならない(エリート主義)」、立法権が行政・司法権に優先されなければならない(民主主義)が正しく機能できなくなる(民主主義)」という項目においては統計学的に有意味な態度をとった。

従つて、これらの類型に属する国会議員はエリート主義を好むかという質問に対してはおおむね肯定的な態度を、民主主義を好むかという質問に対しては否定的な態度を示した(表6)。

## 二 経済観による類型化

国会議員の経済観を政府干渉主義―市場経済主義の次元で分析した結果、政府干渉主義の類型に属する国会議員は

36名、市場經濟主義の類型に属する国会議員は30名であった(表7と表8)。この中で統計学的に有意な結果を示した国会議員は政府干渉主義の類型が15名、市場經濟主義の類型が11名であった(Z—点数が一、〇〇〇以上である議員)。

従つて、韓国の国会議員において政府干渉主義の類型と市場經濟主義の類型は似たり依つたり分布していることまた、政府干渉主義の類型が市場經濟主義の類型よりやや多いことが明らかになった。そして、政党別に比較して見れば野党議員は政府干渉主義の類型に、与党議員は市場經濟主義の類型に多いという結果も示した。

(表7と表8は省略)

国会議員のこうした区分は次のような事実によつて明らかになった。まず、政府干渉主義の類型に属する国会議員は、政府が中小企業を保護するために税制及び金融支援、大企業の中小企業業種に対する参入を防いでいることは適切な措置である。(政府干渉主義)。“財閥の經濟力の集中が深化される場合、經濟の効率性に損傷を受けることがあつても政府はこの問題の解決のために介入しなければならない。(政府干渉主義)”、“不良企業が発生したら失業者が量産されるなど社会的な問題が発生するので政府が不良企業を放置してはならず、救済すべきである。(政府干渉主義)”、“富の増加か富の平等かの中で一つを選択するとすればそれは富の平等である。(政府干渉主義)”、“農民は我らの主食を生産する人々であるから国家によつて保護されることは当然である。(政府干渉主義)”という項目において統計学的に有意な肯定的な態度をとつた(Z—点数が一、〇〇〇以上)。

反面、“企業人は税金を正しく納めればいくらお金を設けてもそのことが問題ではない(市場經濟主義)”、“政府が財閥の“蝮の足の方式(何事にも手を出す)の経営”の防止のために財閥に対して専門業種を指定することは究極的

には韓国企業の国際競争力を弱化させるばかりである（市場経済主義）、という項目において統計学的に有意味な否定的な態度をとった（Z—点数が一、〇〇〇以上）。

従って、これらの類型に属する国会議員は政府干渉主義を好むかという質問に対してはおおむね肯定的な態度を、市場経済主義を好むかという質問に対しては否定的な態度を示した（表9）。

また、市場経済主義の類型に属する国会議員は、市場経済体制を確立することのみが北朝鮮との体制競争で勝利する唯一の道である、*「貿易立国」*のスローガンの下でウルグアイラウンド体制を支持することが賢明な態度である、という項目においては統計学的に有意味な態度をとった（Z—点数が一、〇〇〇以上）。

反面、経済の活力のために小さな政府となるべきであるという主張があるが、それは韓国の実情に照らして見る時、時期早朝である（政府干渉主義）、*「政府が財閥の、蝸の足の方式（何事にも手を出す）の経営」*の防止のために財閥に対して専門業種を指定することは究極的には韓国企業の国際競争力を弱化させるばかりである（市場経済主義）、*「不良企業が発生したら失業者が量産されるなど社会的な問題が発生するので政府が不良企業を放置してはいけなし、救済すべきである（政府干渉主義）」*、*「富の増加か富の平等かの中で一つを選択するとすればそれは富の平等である（政府干渉主義）」*、*「中央政府が地域の均衡的な発展のために積極に介入しなければならない」という項目においては統計学的に有意味な態度をとった（Z—点数が一、〇〇〇以上）。*

従って、これらの類型に属する国会議員は市場経済主義を好むかという質問に対してはおおむね肯定的な態度を、政府干渉主義を好むかという質問に対しては否定的な態度を示した（表10）。

表9 政府干渉主義の類型の性格を示す設問及びZ一点数の配列

経済観のQ一設問	Z一点数
1. 政府が大企業の中小企業業種に対する参入を防いでいることは適切な措置である。(政府)	1.69
2. 財閥の経済力が深化される場合、経済の効率性に損傷を受けることがあっても政府がこの問題の解決のために介入しなければならぬ。(政府)	1.24
3. 不良企業が発生したら失業者が量産されるなど社会的な問題が発生するので政府が不良企業を放置するよりは支援することがより望ましい態度である。(政府)	1.03
4. 富の増加が富の平等かの中で一つを選択するとすればそれは富の平等である。(政府)	1.03
5. 農民は我らの主食を生産する人々であるから国家によって保護されることは当然である。(政府)	1.00
6. 経済を企業家だけに任せては経済の機能がよく作動しない。(政府)	0.30
7. 市場経済体制を確立することのみが北朝鮮との体制競争に勝利する唯一の道である。(市場)	0.30
8. 公企業の下では企業が効率的に機能できないため公企業は私企業に転換させる方が望ましい。(市場)	0.10
9. 韓国の公共料金は現実と合わず副作用が多いので(安い電気料金のために節約精神の不足、安い地下鉄の料金のために投資促進の低下、安い鉄道の料金のために技術開発の鈍化)韓国と類似した他の国の水準に引き上げるべきである。(市場)	-0.59
10. 貿易立国のスローガンの下でウルグアイラウンド体制を支持することが賢明な態度である。(市場)	-0.66
11. 今日の企業がその規模を大きく拡大していることは国際化時代における競争で生き残るための適切な選択である。(市場)	-0.68
12. 消費者の権利を保護するためには農業でも市場経済原理が導入されなければならない。(市場)	-0.85
13. 財閥の経済力の集中が深化される場合、経済の効率性に損傷を受けることがあっても政府がこの問題の解決のために介入しなければならぬ。(市場)	-0.97
14. 政府が企業に対して固有業種を指定することは企業の競争力を弱体化させるばかりである。(市場)	-1.25
15. 企業人は税金を正しく納めればいくらお金を設けてもそのことが問題ではない。(市場)	-1.68

\* (政府) は政府干渉主義を (市場) は市場経済主義を意味する。

表10 政府干渉主義の類型の性格を示す設問及びZ一点数の配列

経済観のQ一設問	Z一点数
1. 市場経済体制を確立することのみが北朝鮮との体制競争に勝利する唯一の道である。(市場)	2.24
2. 「貿易立国」のスローガンでウルグアイラウンド体制を支持することが賢明な態度である。(市場)	1.56
3. 公企業の下では企業が効率的に機能できないため公企業は私企業に転換させる方が望ましい。(市場)	0.70
4. 政府が大企業の中小企業業種に対する参入を防いでいることは適切な措置である。(政府)	0.69
5. 財閥の経済力の集中が深化される場合、経済の効率性に損傷を受けることがあっても政府はこの問題の解決のために介入しなければならない。(市場)	0.66
6. 韓国の公共料金は現実と合わず副作用が多いので(安い電気料金のために節約精神の不足、安い地下鉄の料金のために投資促進の低下、安い鉄道の料金のために技術開発の鈍化)韓国と類似した他の国の水準に引き上げるべきである。(市場)	0.07
7. 経済を企業家だけに任せては経済の機能がよく作動しない。(政府)	0.03
8. 消費者の権利を保護するためには農業でも市場経済原理が導入されなければならない。(市場)	-0.11
9. 企業人は税金を正しく納めればいくらお金を設けてもそのことが問題ではない。(市場)	-0.24
10. 今日の企業がその規模を大きく拡大していることは国際化時代における競争で生き残るための適切な選択である。(市場)	-0.44
11. 農民は我らの主食を生産する人々であるから国家によって保護されることは当然である。(政府)	-0.77
12. 富の増加か富の平等かの中で一つを選択するとすればそれは富の平等である。(政府)	-0.83
13. 不良企業が発生したら失業者が量産されるなど社会的な問題が発生するので政府が不良企業を放置するよりは支援することがより望ましい態度である。(政府)	-0.83
14. 経済の活力のために「小さな政府」となるべきであるという主張もあるが、それは韓国の状況に合わない。(政府)	-1.10
15. 政府が企業に対して固有業種を指定することは企業の競争力を弱化させるばかりである。(市場)	-1.64

\* (政府) は政府干渉主義を (市場) は市場経済主義を意味する



### 三 国会議員の政治的信念の研究

韓国の国会議員たちの政治的信念は以上のような政治観・経済観に基づいて〈民主主義—政府干渉主義型〉、〈民主主義—市場経済主義型〉、〈エリート主義—政府介入主義型〉、〈エリート主義—市場経済主義型〉に区分することができる。

まず、〈民主主義—政府干渉主義型〉に属する国会議員は鄭祥容(民主・全南 光州西)、李海瑣(民主、ソウル 冠岳乙)、金復東(新民・慶比 大丘東)、李哲(民主・ソウル 城北甲)、韓光玉(民主・冠岳甲)、金泳鎮(民主・全南 康津 莞島)、林采正(民主・ソウル 蘆原乙)、趙世衡(民主・ソウル 城東乙)、金元雄(民主・忠南 大田 大徳)、金炳午(民主・ソウル 九老丙)、朴錫武(民主・金南 霧安)、張永達(民主・全北 全州 完山)、李仁濟(民主・京畿 安養甲)、任仕彬(民主・京畿 東豆川 楊州)、崔相容(民主・全国区)、姜秀彬(民主・ソウル 城東丙)、張基旭(民主・全国区)、宋千永(民主・忠南 大田 東乙)、朴啓東(民主・ソウル 江西甲)、李錫玄(民主・京畿 安養乙)、朴燦鐘(新民・ソウル 瑞草甲)、金海碩(民主・慶北 大丘南)、琴震鎬(民主・慶北 榮州 榮豊)、朴柱千(民主・ソウル 麻布乙)、朴熙富(民主・忠南 燕岐)、洪英基(民主・全北 任實 淳昌)、柳俊相(民主・全南 賓城)議員などである。

これらの国会議員たちは、政治的には民主主義を、経済的には政府干渉主義を支持する態度を示した。この類型には野党である民主党的議員が多いのに、民主党的議員の中で鄭祥容、李海瑣、李哲、朴啓東、李錫玄は「運動圏」出身であり、金泳鎮、林采正、金炳午、朴錫武、張永達、韓光玉、柳俊相、張基旭、洪英基議員などは過去の朴正熙・全斗煥政権の下で「民主化運動」を行った人々たちである。また、与党議員であるが、李仁濟・宋千永議員も「民主化

運動」を行った人たちである。

また「地域区と比較するとき意味のある特性は発見されないが、〈民主主義—政府干渉主義型〉にはソウルの中上層以下が住んでいる地域と全羅南道地域出身の議員たちが相対的に多い。ソウルは伝統的な野党地域であり、全羅南道は80年「5・17光州事態」が発生して以来、政権に最も批判的な地域である。

従って、〈民主主義—政府干渉主義型〉の類型は野党議員として運動圏出身や民主化運動を行ったことがあるソウル及び全羅南道出身区にする議員をこの類型の理念型として想定することができる。

〈民主主義—市場経済主義型〉に属する国会議員は孫鶴圭（民自・京畿 光明）、張在植（民主・全国区）、趙舜衡（民主・ソウル 道峰丙）、金元吉（民主・ソウル 道峰乙）、柳惇佑（民主・慶北 安東）、朴実（民主・ソウル 東雀乙）、金範明（忠南 諭山）、朴泰榮（民主・全南 潭陽 長城）、金正秀（民自・釜山 釜山鎮乙）、李種贊（新韓・ソウル 鐘路）、南宮鎮（民主・全国区）、韓英洙（新民・忠南 瑞山 泰安）、權海玉（民自・慶南 陝川）、朴佑炳（民自・江原 旌善）、吳世應（民自・京畿 城南 盆唐）、河舜鳳（民自・慶南 晋州）、金奉祚（民自・慶南 巨濟）、羅午淵（民自・慶南 梁山）、金云桓（民自・釜山 海雲臺）議員などである。

これらの国会議員たちは政治的には民主主義を、経済的には市場経済主義を支持する態度を示した。この類型は政党別にあまり相違がなく、与党と野党議員が共存しており、地域区別にもあまり相違が発見されなかった。

〈エリート主義—政府介入主義型〉に属する国会議員は南平祐（民自・全国区）、金基洙（民自・江原 寧越 平昌）、慎順範（民主・全南 麗川）、李敬載（民主・九老乙）、洪思德（民主・ソウル 江南乙）、吳坦（民主・全北 全州 徳津）、盧仁煥（民自・慶南 山淸）、潘亨植（民自・慶北 醴泉）、朴明煥（民自・ソウル 麻布甲）議員などである。

これらの国会議員たちは政治的にはエリート主義を、経済的には政府介入主義を支持する態度を見せた。この類型は政党別にあまり相違がなく、与党と野党議員が共存しており、地域区別にもあまり相違が発見されなかった。

（エリート主義—市場経済主義型）に属する国会議員は鄭必根（民自・慶南 晋陽）、康容植（民自・全国区）、李協（民主・全北 裡里）、金鎮載（民自・釜山 金井）、崔兼烈（民自・全国区）、朴济相（民自・果川 儀旺）、郭正出（民自・釜山 西）、金榮龜（民自・ソウル 東大門乙）、車和俊（民自・慶南 蔚山 中）、崔炯佑（民自・釜山 東夾 乙）、金永光（民自・京畿 松炭 平澤）議員などである。

これらの国会議員たちは政治的にはエリート主義を、経済的には市場経済主義を支持する態度を見せた。この類型は政党別には大きな差異を示したが、地域によってはあまり差異が発見されなかった。政党別に見るとき、この類型に属する野党議員は一人だけであり、残りは皆与党議員であった。

これらの与党議員の中で鄭必根、金鎮載、郭正出（民自・釜山 西）、車和俊（民自・慶南 蔚山 中）議員は企業人の出身として市場経済主義を擁護する傾向が、康容植、崔兼烈議員は言論人の出身としてエリート主義を擁護する傾向が各々強いことは、国会議員の出身地域によって、特定の政治信念を持つことを間接的に示していると思われる。これらの類型化された国会議員たちを（民主主義—エリート主義）と（政府干渉主義—市場経済主義）の軸に分布させると、図1のようになる。

この図1から、韓国の国会議員たちは政治的にはエリート主義よりは民主主義を政治的態度にとっている人が多いことがわかる。その反面、経済的には政府干渉主義と市場経済主義に対する態度はほぼ均等に分布している。しかし、政治的態度が経済態度より強く表れたことによって、韓国国会議員の政治意識は経済観よりは政治観によって主に決



定されるということが明らかになった。

#### 四 要約及び結論

韓国国会議員たちはエリート主義よりは民主主義を政治観として信奉する人が多い反面、政府干渉主義と市場経済主義に区分される経済観においてはほぼ均等に分布している。しかし、政治観が経済観より強く現れたことによつて韓国の国会議員の政治意識は政治観によつて主に決定されることが明らかになった。

与党議員は政治的にはエリート主義を、経済的には市場経済主義を擁護する反面、野党議員は政治的には民主主義を、経済的には政府介入主義を擁護する傾向がある。しかし、野党議員の「民主主義—政府介入主義」の態度は与党議員の「エリート主義—市場経済主義」の意識より強いことも示している。

また、与・野党議員を問わず、〈民主主義—エリート主義〉の政治意識が〈市場経済主義—政府介入主義〉の経済意識よりはるかに上回っていることも明らかである。

しかし、政治意識が国会議員の出身地域の間には意味のある差異があまりないことが判明した。但し、「民主主義—政府介入主義」の類型に属する国会議員たちの地域区は野党性を帯びている地域区、例えばソウルの中上層以下が住んでいる地域区と全羅南道の地域区が多い。

このような結果を通じて見るとき、韓国の国会議員の政治意識は主に経済観より政治観によつて決定される。政治観においてもエリート主義よりは民主主義によつてより多くの影響を受けていると言える。また、国会議員の政治意識は所属政党と関連があるが、それよりは個人的所信によつても大きく左右されるとも言える。このような事実は韓

国政党が理念政党ではなく、大衆政党という事実を裏付けているように思われる。